FUJIFILM

Vol. 77
December 2009

株主の皆様へ

FUJIFILM NEWS

4月

■ タッチパネル・太陽電池など向けに、銀塩写真技術を応用した新しい透明導電性フィルム「エクスクリア」新開発

■ 充実したレポート作成機能などで、米国の臨床医から高い評価！循環器部門向け医用画像情報システム「SYNAPSE CardioVascular（シナプス カーディオバスキュラー）」新発売

6月

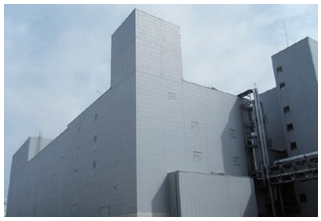
■ 米ゼロックスと富士ゼロックスが、P&G社の全世界における出力業務管理を受注

■ 画期的な医薬品の創出を目指し、新薬候補の探索を強化！「富士フイルム医薬品研究所」を設立

7月

■ オフセット印刷用刷版材料「サーマルCTP版」が、印刷関連資材として初めて「エコリーフ環境ラベル」を取得

■ 伸長する新興国の液晶テレビ需要に対応！液晶ディスプレイの視野角を拡大する「WV（ワイドビュー）フィルム」の新工場が稼働開始



8月

■ 業界トップの省エネ商品ラインアップで統合的な環境負荷削減ソリューションを加速。カラーデジタル複合機「ApeosPort-IV シリーズ」等を新発売

■ 世界初！高画質で自然な3D映像を簡単に撮影、専用メガネなしで鑑賞できる！3Dデジタル映像システム「FUJIFILM FinePix REAL 3D System」新発売

■ 人間の眼のメカニズムに近づけた「スーパー CCDハニカムEXR」搭載機種第2弾！世界最小*10倍ズームデジタルカメラ「FinePix F70EXR」新発売

＊2009年7月現在

■ 放送用レンズで世界初のオートフォーカスシステム「プレシジョン・フォーカス」が、米国テレビ芸術科学アカデミーより「2009年度 エミー賞」を受賞

9月

■ X線量を低減しながらも、医師が診断しやすい高画質画像を提供！デジタルX線画像診断装置「FUJIFILM DR CALNEO U（カルネオ ユー）」新発売

勝ち抜いていく強固な体質を築き、次への飛躍に備える

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成21年度第2四半期累計期間の振り返り

平成21年度第2四半期累計期間（平成21年4月1日～9月30日）は、昨年秋より深刻化した世界同時不況の影響を受け、厳しい事業環境が続いています。中国における景気刺激策の効果などにより新興国地域では景気は持ち直してきています。米国や、欧州の一部地域では、景気の下げ止まりも見られますが、失業率が依然として高水準にあるなど、引き続き深刻な状況にあります。また、日本においても景気はゆるやかに回復しつつありますが、雇用情勢の悪化、設備投資の減少など先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社においては、フラットパネルディスプレイ材料事業の売上が急回復し、電子映像事業の損益も順調に改善しています。しかしながら、全般的な事業環境は、為替の円高影響に加え、世界不況に伴う需要の減少の影響が続いており、引き続き厳しい状況となりました。

当社の当期間の連結売上高は、1兆435億円（前年同期比22.0%減）となりました。

構造改革費用前営業利益は、為替の円高による193億円の減益影響や、需要の減少による売上の減少などにより、266億円（同68.8%減）となりました。当社は、グループ全体・全事業を対象に聖域を設けることなく集中的に構造改革を進め、徹底したコストダウン・経費削減を実施しています。構造改革は、計画を上回るペースで進んでおり、当期間の構造改革費用は352億円となりました。これにより、構造改革費用後営業損失は、86億円となりました。

税金等調整前四半期純損失は80億円、当社株主帰属四半期純損失は54億円となりました。

平成21年度中間期の配当金は、12円50銭としました。年間の配当金は、構造改革の断行により平成21年度業績が営業損失となることが見込まれる厳しい状況であるため、25円を予定しています。

今後の取り組み

当社は、平成21年度を「全社機能の簡素化と強化」と「成長戦略の再構築」による企業体質強化に向けた重要な年と位置づけています。

「全社機能の簡素化と強化」では、グループ全体、全事業を対象に構造改革を推進し、固定費削減と資産圧縮を進めています。構造改革は、海外現像所拠点の統廃合やデジタルカメラ事業の損益改善など、計画どおりに進捗しています。デジタルカメラ事業は、徹底的なコスト削減の効果により採算性が大幅に改善しました。

「成長戦略の再構築」では、今後も市場成長が期待されるメディカルシステム・ライフサイエンス、グラフィックシステム、ドキュメント、光学デバイス、高機能材料の5つの重点事業分野への経営資源の集中投下を推進しています。それとともに、新興国での拡販・シェアアップ施策も強化しています。メディカルシステム事業では、小型FCR（Fuji Computed Radiography）を発売し、新興国市場での拡販を進めています。また、デジタルカメラ事業では、新興国向けのエントリーモデルが順調に販売を伸ばしています。この構造改革と成長戦略の再構築を、全社員一丸となってやり抜きます。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長・CEO　古森重隆

財務ハイライト

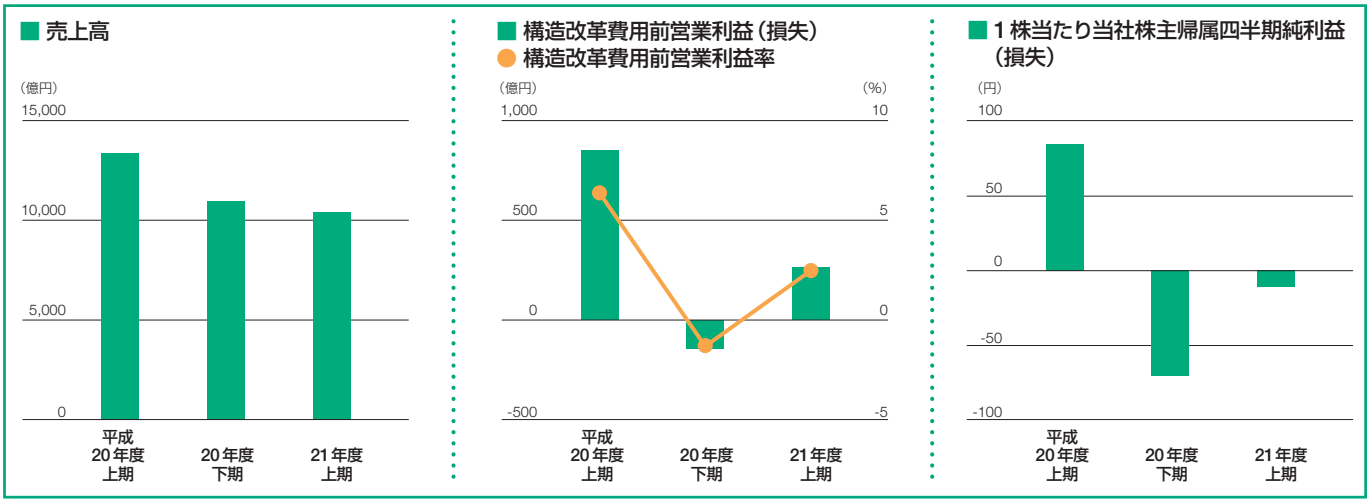
単位：百万円

	平成21年度 第2四半期累計 （平成21年4月1日～平成21年9月30日）	平成20年度 第2四半期累計 （平成20年4月1日～平成20年9月30日）	平成20年度 （平成20年4月1日～平成21年3月31日）
損益状況			
売上高	**¥1,043,484**	¥1,338,486	¥2,434,344
構造改革費用前営業利益	**26,594**	85,319	70,769
構造改革費用後営業利益（△損失）	**△8,601**	81,273	37,286
税金等調整前四半期（当期）純利益（△損失）	**△7,952**	81,737	9,442
当社株主帰属四半期（当期）純利益（△損失）	**△5,409**	45,382	10,524
研究開発費	**88,272**	95,707	191,076
キャッシュ・フロー状況			
営業活動によるキャッシュ・フロー	**179,431**	133,131	209,506
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△59,496**	△86,901	△152,781
フリー・キャッシュ・フロー	**119,935**	46,230	56,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△41,723**	△58,855	△102,139
財政状態			
総資産	**2,836,156**	3,178,397	2,896,637
株主資本	**1,754,492**	1,950,523	1,756,313
設備投資額＊	**40,613**	56,705	112,402
減価償却費＊	**93,747**	105,565	212,565
（うち有形固定資産）＊	**63,146**	73,869	149,912

単位：円

1株当たり金額			
当社株主帰属四半期（当期）純利益（△損失）	**¥ △11.07**	¥ 89.97	¥ 21.10
潜在株式調整後当社株主帰属四半期（当期）純利益（△損失）	**△11.07**	84.97	21.09
配当金	**12.50**	17.50	30.00
財務指標			
構造改革費用前営業利益率	**2.5%**	6.4%	1.5%
ROE	**△0.3%**	2.3%	0.6%
株主資本比率	**61.9%**	61.4%	60.6%
配当性向（連結ベース）	**—**	19.5%	142.2%

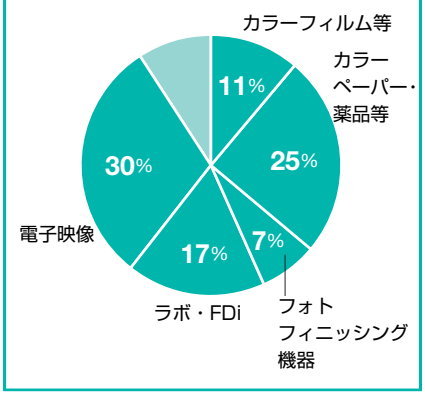
＊ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

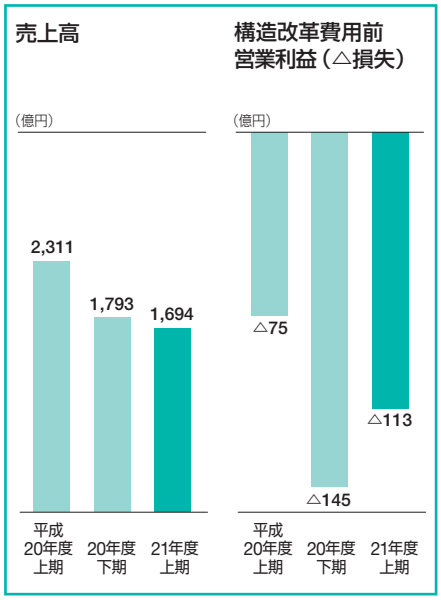


（注）上期：第1・第2四半期累計
　　下期：第3・第4四半期累計

イメージングソリューション

売上高構成比





業績概要

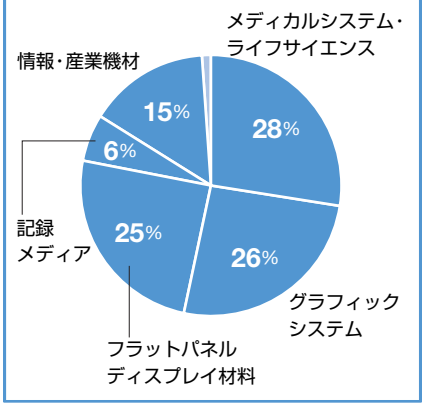
- フォト事業は、カラーフィルムなどの需要減少と円高影響などで売上、営業利益とも減少。電子映像事業は、事業構造改革、サプライチェーンマネジメント強化などで事業営業利益黒字化を達成。

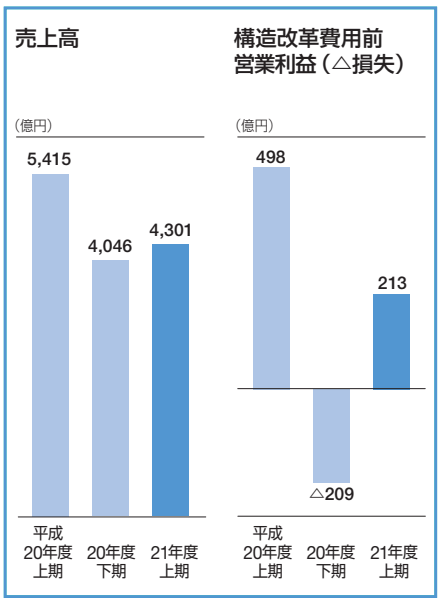
今後の取り組み

- 「フォトブック」など付加価値プリントの販促強化。
- 「FinePix REAL 3D」「FinePix F70EXR」など独自技術を活かしたデジタルカメラの拡販。
- 新興国におけるエントリーモデルデジタルカメラの拡販。

インフォメーションソリューション

売上高構成比





業績概要

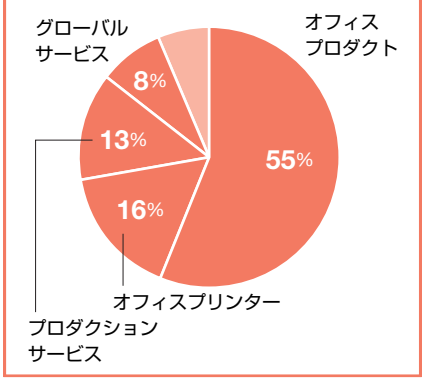
- 世界同時不況の影響が続き、各事業で売上、営業利益とも減少したが、フラットパネルディスプレイ材料の販売が急回復するなど、足元の業績は回復傾向。

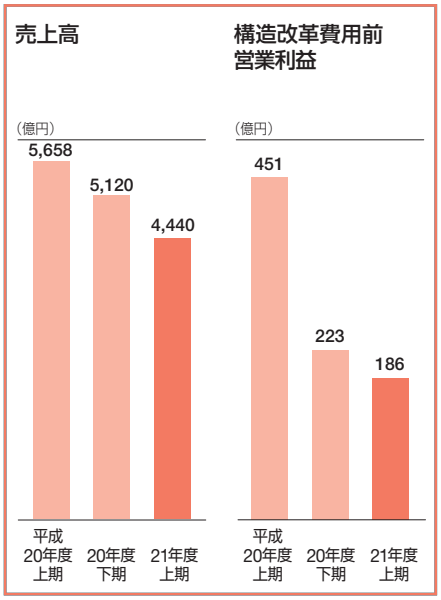
今後の取り組み

- メディカルは、医療ITや新興国向け小型FCRを軸に販売強化。
- グラフィックは、成長するデジタル印刷分野でワイドフォーマットインクジェットシステムを拡販。
- 光学デバイスは、携帯電話用モジュールなどへの事業拡大の推進。

ドキュメントソリューション

売上高構成比





業績概要

- 先進国を中心とした需要の低迷により売上、営業利益とも減少したが、中国など一部のアジア地域での販売は回復基調。

今後の取り組み

- 業界トップの省エネ性能と卓越した機能を備えた「ApeosPort-IV シリーズ」による競争力強化。
- 成長が期待されるプロダクションサービス、グローバルサービスの強化。

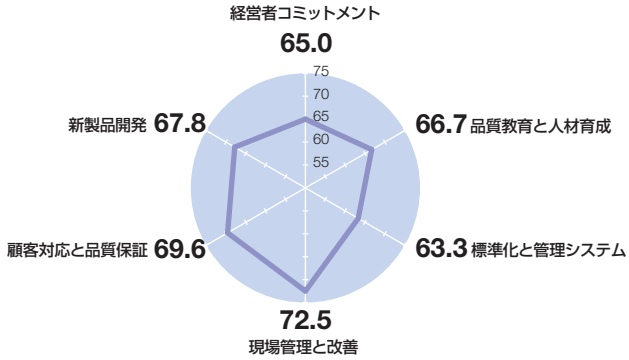
（注）上期：第1・第2四半期累計
　　下期：第3・第4四半期累計

第5回「企業の品質経営度」調査で2位を獲得

富士フイルムホールディングスは、第5回「企業の品質経営度」調査2009（日本科学技術連盟主催、日本経済新聞社協賛）で前年の1位に続き、2位と高評価を得ました。この調査は、製品やサービスの品質を高める取り組みや実施状況を、「経営者コミットメント」「品質教育と人材育成」「標準化と管理システム」「現場管理と改善」「顧客対応と品質保証」「新製品開発」の6項目について評点化するものです。当社はISO9001とISO14001の認証取得率がいずれも90％以上で、神奈川県内の主要工場では平成20年10月から、「品質」「環境」「労働安全性」に関する3つの規格を統合した管理システムを運用している点などが評価されました。

富士フイルムホールディングスの6項目評価

（数字は得点）



品質経営度調査の総合ランキング

（カッコ内は前回順位、ーは前回調査で未回答）

順　位	社　名	得　点
1　（－）	パナソニック	405.7
2　（1）	**富士フイルムホールディングス**	**404.9**
3　（2）	シャープ	397.1
4　（3）	トヨタ自動車	394.9
5　（5）	アイシン精機	394.2

国内主要6工場を中心に、グループ全体でCO_2削減に取り組む

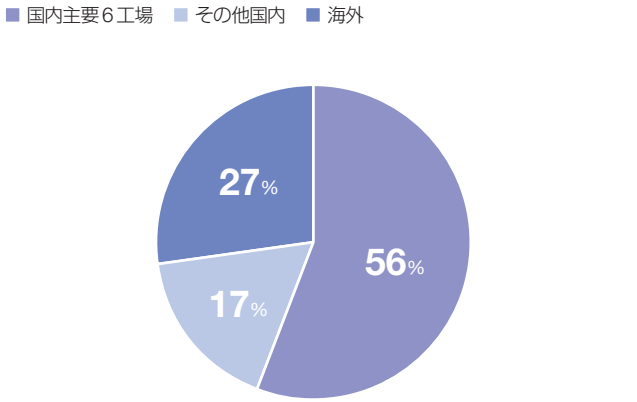
富士フイルムホールディングスは、グループ全体で温暖化対策に積極的に取り組んでいます。

全CO_2排出量の約60％を占める国内主要6工場で、平成24年までにエネルギー原単位*1を平成2年比30％、CO_2原単位*2を同40％削減するという、意欲的な目標を設定しています。平成20年度の国内主要6工場のCO_2排出量は、平成19年度に比べて13万トン減少し、76万トンとなりました。平成18年に稼働した2つの新工場を除く4工場のCO_2排出量は、平成2年度を下回るまでになっています。

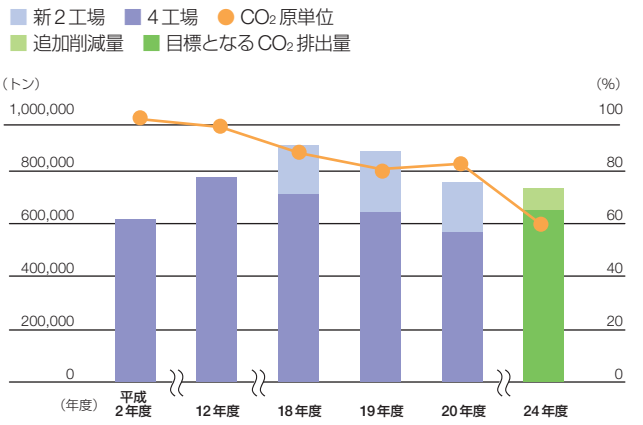
平成20年度のエネルギー原単位、CO_2原単位は、世界同時不況に伴う減産によって生産効率が低下したため、前年度より若干増加しました。しかしながら、平成21年9月、神奈川工場足柄サイトにおいて燃料全面天然ガス化を実現し、主要6工場での燃料転換がすべて終了しました。これにより、重油を使い続けたときと比べて16万トン以上のCO_2削減が可能となる見込みです。

*1 エネルギー原単位：一定の活動を行うのに必要なエネルギー量のことで、この数値が小さいほど、環境への負荷も小さい。
*2 CO_2原単位：一定の活動を行う際に排出したCO_2の量のこと。

CO_2排出割合（平成20年度）



CO_2排出量の推移（国内主要6工場）



デジタルカメラ「FinePix F70EXR」新発売

Point ポイント

- 「FinePix F70EXR」は、「スーパー CCDハニカムEXR」搭載。
- 人間の目のメカニズムをデジタルカメラで再現。

人間の目

明るいところでは、
細かい部分まで緻密に見る。

明暗差の激しいところでは、
明るい部分から暗い部分まで
バランス良く見る。

暗いところで、
できるだけ明るくきれいに見る。

人間の眼は、シーンに合わせて無意識に調整。

独自のCCDと
画像処理技術により、
人の目のメカニズムを
デジタルカメラで実現。

「スーパー CCDハニカムEXR」

明るいシーンでは、
高解像度で細かな
ディテールまでリアルに描写。

明暗差の激しいシーンでは、
明るいところと暗いところを別々に記録・
合成、白トビや黒つぶれを防止。

暗いシーンで、
高感度でもノイズを少なく、鮮明な画像に。

3Dデジタルカメラ「FinePix REAL 3D W1」新発売

Point ポイント

- 世界初！専用メガネなしで、三次元画像や三次元動画が楽しめる。
- 人間が立体感を感じる仕組みをデジタルカメラで実現。

3D映像を高画質に映し出す液晶3Dビューワー
「FinePix REAL 3D V1」

「FinePix REAL 3D W1」で撮影した立体写真から
3Dプリントを作成「FUJIFILM 3Dプリント」

3Dビューワーと3Dプリントも新発売。

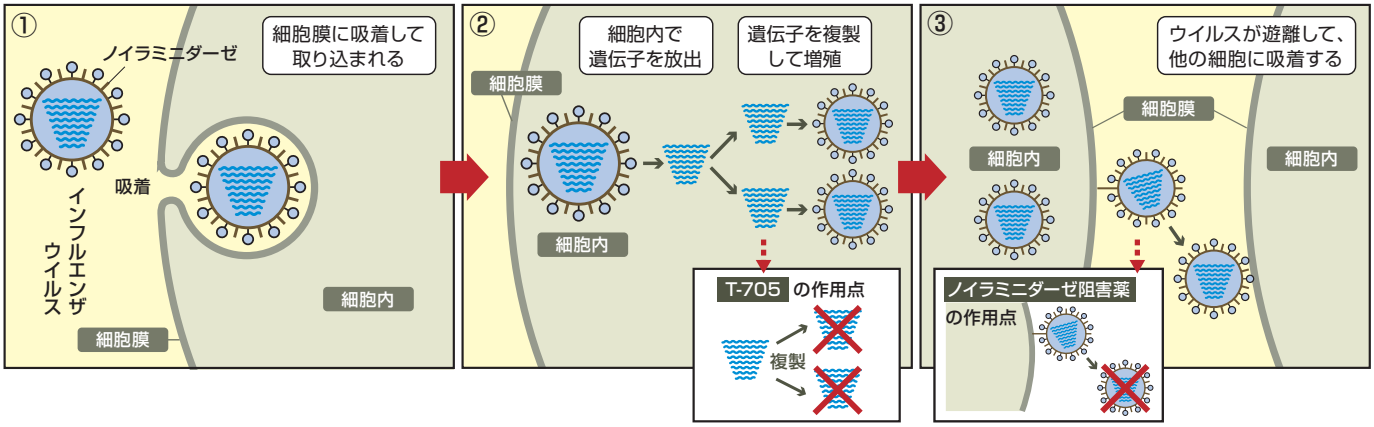
新インフルエンザ治療薬「T-705」臨床第Ⅲ相試験開始

Point ポイント

T-705は、既存の治療薬とは異なる作用メカニズムで、
ウイルスの複製そのものを阻止。

だから、
- **感染後ある程度時間が経ってからでも効果が期待できる。**
- **既存の治療薬に対して耐性をもったウイルスにも効果が期待できる。**
- **鳥インフルエンザ、新型インフルエンザにも効果が期待できる。**

インフルエンザウイルスが増える仕組みと薬の作用点



インフルエンザウイルスは、健康な細胞に吸着して細胞内に取り込まれることで、感染が拡大します。

細胞内に取り込まれたインフルエンザウイルスは、細胞内で遺伝子を複製して増殖します。T-705は、細胞内での複製を抑える効果があり、ウイルスの増殖を直接阻止する点に大きな特長があります。

細胞内で増殖したウイルスは細胞から遊離し、他の健康な細胞に吸着します。従来のノイラミニダーゼ阻害薬(タミフルやリレンザなど)は、細胞内で増殖したウイルスが細胞から遊離するのを阻害します。

「JGAS2009」で「Jet Press 720(仮称)」を公開

平成21年10月、東京ビッグサイトにおいて開催された印刷機材の国際展示会「JGAS2009」で、「Jet Press 720(仮称)」を国内初公開しました。多品種少量印刷のニーズが高まる印刷業界で、印刷現場の生産効率を大幅に向上させる画期的な印刷機として大きな注目を集めました。「Jet Press 720(仮称)」は、来年春の発売予定です。

Point ポイント

「Jet Press 720(仮称)」は、富士フイルムのインクジェット技術と富士ゼロックスのシステム設計技術を融合。

- **世界初の高解像度を実現。**
- **大サイズ(菊半サイズ)へも対応可能。**
- **革新的な高速印刷を実現。**

デジタル印刷は、小部数の印刷注文に柔軟に対応するのに適しています。一方、オフセット印刷は、印刷速度、画質、大サイズ適応の面で優れています。「Jet Press 720(仮称)」は、デジタル印刷とオフセット印刷のメリットを融合した、次世代インクジェットデジタルプリンティングシステムです。

セブン-イレブンの「マルチコピー機」を全面リニューアル!

セブン-イレブン各店舗の「マルチコピー機」は、平成12年以来、富士ゼロックスが提供しています。この「マルチコピー機」が、平成21年10月に全面刷新され、平成22年3月末までにセブン-イレブンの各店(平成21年8月末現在、12,467店)へ導入される予定です。

Point ポイント

新「マルチコピー機」に、新たな機能やサービスを追加。

- **電子マネー(nanaco)で支払いができる。**
- **スキャンして、USBメモリに保存できる。**
- **USBメモリから、pdf形式の文書を印刷できる。**
- **デジタルカメラや携帯電話などの赤外線通信が使える。**

タッチパネルから、メニューを選択!

USBメモリから、pdf文書も簡単プリント!

業界初の電子マネー決済を実現!

ケータイからも赤外線通信でラクラクプリント!

会社概要

会社名	富士フイルムホールディングス株式会社
設　立	昭和9年1月20日
資本金	40,363百万円(平成21年9月30日現在)
本　社	東京都港区赤坂9丁目7番3号
連結従業員数	75,938名(平成21年9月30日現在)

インターネットで株主様、投資家の皆様向けの情報がご覧になれます。

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html

株主メモ

事業年度末日　3月31日

定時株主総会　6月下旬

公告掲載

当社ホームページに掲載します。
URL(アドレス)は次のとおりです。
http://www.fujifilmholdings.com/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人
東京都港区芝3丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先/電話照会先
〒168-0063
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社　証券代行部
電話　0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店、及び全国各支店で行っております。

単元株式数　100株

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行にお申し出ください。

配当等の支払いに関する通知書
租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金領収証にてお受取りの株主様は、年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は、配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際、その添付書類としてご使用いただくことができます。

FUJIFILM

ミックス品
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SA-COC-001196
© 1996 Forest Stewardship Council
FSC
GPN Green Purchasing Network
印刷サービス
印刷サービスのグリーン購入に取り組んでいます